

平成21年2月教育委員会定例会会議録

報告事項

報 第 8号 平成21年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体（者）文部科学大臣表彰の推薦について

萩原生涯学習課長から、読書活動を重視した取組や体験学習等を通し、児童生徒に対して読書への意欲醸成と定着を図っている児童図書館1館と、家庭や地域の保育園、小学校及び中学校と連携して、定期的に「読み聞かせ」活動や民話を紀南地方の方言で語る学習会等地域に密着した読書活動の推進に貢献している1団体について推薦したとの説明があり、報告のとおり了承された。

報 第 9号 平成21年度読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰の推薦について

東中小中学校課長から、読書活動を通して、「話す・聞く・伝え合う」力を高める指導と実践研究を行うとともに、地域の図書ボランティア等と連携して読書活動の定着を図っている小学校、国語科における「読み」を中心とした指導研究を行い、読書活動から全児童のよる群読発表や暗唱発表へと発展させて理解や感動を表現する活動を行っている小学校について、また、図書室を利用する知的障害や肢体不自由のある児童生徒に対して、貸出時等における利便性を高めるシステム化、積極的に利用する児童生徒の表彰やボランティアによる読み聞かせ会の実施等自己表現につながる活動を通して読書活動の定着を図っている特別支援学校の合計3校について推薦したとの説明があった。

委員から、国語科等教科と結びつけた読書活動の研究会や発表会の実践事例を他校にも情報発信を行ってほしいとの意見があり、報告のとおり了承された。

付議事項

議案第63号 和歌山県教育振興基本計画（案）について

黒田総務課長から、和歌山県教育振興基本計画（案）について、昨年3月に策定された「和歌山県長期総合計画」を元に、今後10年先を見通した教育の目指すべき姿を踏まえ、今後5年間で総合的かつ計画的に取り組むべき教育の基本的方向や目標等を明確に示し、そうした目標を確実に実現するために必要な教育施策や取組を体系的に整理するため、昨年12月と今年1月に開催した有識者会議における意見や先月12日まで実施したパブリックコメント等で寄せられた意見等も踏まえて検討・策定した項目を中心に説明があった。

委員から、施策や取組を具体化する場合、幼児教育との関わりでは知事部局福祉保健部等と、国民体育大会（以下「国体」という。）等競技スポーツの部分では、学校、地域、競技団体等と連携することを検討してほしいとの意見があった。

委員から、パブリックコメント等で寄せられた意見等の件数について質問があり、総務課長から3人及び1団体から合計16件の意見等が寄せられたとの説明があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第64号 教育委員会事務の点検・評価（案）について

総務課長から、昨年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の規定により実施した教育委員会事務の点検・評価（案）について、学校教育、生涯学習、スポーツ・健康、歴史・文化の4部門に分け、平成19年度の主要な施策や事業等の事務（以下「事務」という。）に関して年度計画、中間実績、最終実績、課題や取組の方向性をまとめた評価シートを作成し、今年1月に開催した有識者会議における意見等を踏まえて検討した報告書の内容を中心に説明があった。

委員から、来年度以降の点検・評価の実施について質問があり、総務課長から、平成20年度の事務については、和歌山県長期総合計画に基づいた事務を選択して点検・評価を行い、平成21年度事務については、和歌山県教育振興基本計画に基づいた事務を選択して点検・評価を行って、報告書を作成のうえ、県議会9月定例会に提出する予定であるとの説明があった。

議案第 6 5 号 平成 2 1 年度学校教育指導の方針と重点（案）について

総務課長から、平成 2 1 年度学校教育指導の方針と重点（案）について、市民性を高める教育、生徒指導、進路指導など時代の進展に即し、豊かに生きる教育の充実に関する項目や情報モラルの育成、家庭・地域との連携等当面する課題と対応に関する項目を中心に説明があった。

委員から、この内容を教職員と共有するための取組について質問があり、小中学校課長から各学校への配布とともに、市町村教育委員会教育長会議や学校長会等において会議資料として配布し、教職員への周知徹底を依頼しているとの説明があった。

委員から、昨今の経済情勢の悪化に伴い、高等学校の就職内定率の低下と、高等学校卒業後 3 年以内での離職率が上昇しつつある状況から、高等学校における進路指導では、望ましい勤労観・職業観の育成になお一層学校と連携しながら取り組んでほしいとの意見があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第 6 6 号 和歌山県教育委員会公印規程の一部を改正する訓令（案）について

総務課長から、教育職員免許法の一部改正により、平成 2 1 年 4 月から教員免許更新制が導入されて教員免許状の様式が全国共通となることに伴い、新様式に対応する教育委員会印が必要となるために規定の改正を行うとの説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第 6 7 号 和歌山県職員定数条例の一部を改正する条例（案）について

総務課長から、行財政改革推進プランにおける職員定数の削減計画に基づき、教育委員会事務局の職員定数を減じる改正を行うとの説明があった。

委員から、今後の定数削減計画について質問があり、総務課長から、平成 2 0 年度からの 5 年間で合計三十数名の定数減の計画であるとの説明があった。

委員から、平成 2 7 年度開催予定の国体に係る組織体制につい

て質問があり、総務課長から、国体に際して、事務組織は知事部局で、競技力向上等は、スポーツ課で行う予定であるとの説明があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第68号 教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（案）について

議案第69号 市町村立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（案）について

辻本給与課長から、職員の給与について勤務1時間当たりの給与額の算定方法等を改めるとともに、県の財政状況を考慮し、職員の給料月額を減じる期間を延長することに伴い、規定の改正を行うとの説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第70号 和歌山県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例（案）について

事務局から、和歌山県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例（案）について、説明は、給与課長、生涯学習課長、森岡スポーツ課長、熱川県立学校課長、木下文化遺産課長の順で行うとの説明があった。

給与課長から、教育職員免許法の一部改正により、教員免許更新制が導入されることに伴い、免許状の更新等の手数料の額を定めるとともに、条ずれ等規定の改正を行うとの説明があった。生涯学習課長からは、和歌山県立図書館文化情報センターのメディア・アート・ホール及び講義・研修室の使用料の額の改定を行うとの説明があった。スポーツ課長からは、和歌山県立体育館及び和歌山県立武道館の使用料の額の改定を行うとの説明があった。県立学校課長からは、平成22年度入学希望者から定時制高等学校の入学考査手数料を、国の地方財政計画における入学考査手数料の額と同額に改定を行うとの説明があった。文化遺産課長からは、和歌山県立近代美術館、和歌山県立博物館及び和歌山県立紀伊風土記の丘における入館料の額の改定を行うとの説明があった。

委員から、教員免許更新講習の受講時期について質問があり、

給与課長から土日や夏休み中等を中心に開講する予定であるとの説明があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第71号 和歌山県立高等学校規則の一部を改正する規則（案）について

県立学校課長から、学科改編に伴い、平成21年4月1日から、1校1学科におけるコース別募集を停止して一括募集すること、平成18年から募集停止としていた1校1学科及び平成19年度から募集停止としていた4校8学科を廃科とすること、また、1校1学科を新設することに伴い、規定の改正を行うとの説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第72号 和歌山県立学校等職員定数条例の一部を改正する条例（案）について

県立学校課長から、市町村立の小・中学校及び県立の中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒数の減少や学校統廃合等学級数の変動等に伴い、職員定数を改めるために改正を行うとの説明があった。

委員から、特別支援学校の児童生徒数の増加について質問があり、三反田県立学校課特別支援教育室長から、特別支援教育の啓発等を行った結果、小学校の養護学級への通学を検討していた児童や保護者が、支援学校の小学部への通学を選択するようになったとの説明があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第73号 平成21年秋の叙勲（初等中等教育局関係）候補者の推薦（案）について

総務課長から、永年にわたり本県教育の充実発展に尽力し、多大な功績を残した元小学校長3名、元中学校長1名、元県立高等学校長2名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第74号 平成21年秋の叙勲（体育・スポーツ）候補者の推薦（案）に

ついて

スポーツ課長から、ホッケーの普及と選手の育成強化に指導力を発揮するとともに、競技団体の育成と実業団や本県のスポーツ振興に貢献している1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第75号 平成21年秋の叙勲（学校保健関係）候補者の推薦（案）について

中島健康体育課長から、永年にわたり幼稚園、小中学校等の学校歯科医として歯科保健及び健康教育の向上に尽力するとともに、無歯科医地域における巡回診察等地域医療や地域保健の向上に貢献した1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第76号 事務局等職員の人事異動（案）について

総務課長及び文化遺産課長から、和歌山県立近代美術館長及び和歌山県立紀伊風土記の丘館長にかかる人事異動について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。